

資料 7

教員養成のフラッグシップ大学検討

ワーキンググループ（第2回）

R1.6.6

論点例

1. 教員養成フラッグシップ大学の目的と役割について

（社会・技術の急速な変化が進展する Society5.0 対応、先進性・先導性、教育課題への総合的・一体的な対応、新しい学校教育や教員養成の在り方の提案、ネットワークの拠点、成果の全国展開、新しい教員養成の評価方法の提示等）

2. 教員養成フラッグシップ大学における教育課程と教育研究について

（社会に開かれた教育課程、アクティブラーニング、カリキュラムデザイン、キーコンピテンシー、個別最適化、先端技術、遠隔教育、AI、データサイエンス、STEAM 教育、文理横断、EBPM、国内外の企業や教育機関との連携・協働、附属学校等の効果的な活用等）

3. 教員養成フラッグシップ大学における大学教員の養成・採用・研修について

（優れた大学教員を再生産する博士課程等の在り方、望ましい採用基準やスタッフ構成、クロスアポイントメント、実務家教員の在り方、計画的かつ育成的な教職員の研修やキャリア形成制度の設定等）

4. 教員養成フラッグシップ大学におけるガバナンスとマネジメントについて

（国・地方・社会との太いパイプ、外部評価の経営への適切な反映、経教分離、教学マネジメント、他の教育機関との連携・連合、戦略的な附属学校経営等）

5. 教員養成フラッグシップ大学の成果の発信・還元・共有の方法について

6. 教員養成フラッグシップ大学の指定の要件について

7. 国からの予算的・制度的支援の在り方について

等々